

んだ。二十三日には小樽に着き、二十四日器械と共に威海丸に移つる、小樽に着くまでは寺尾先生の面白い話に傾聴して無聊を感じない。先生は昔し巴里天文臺で二ヶ月間學習されたことが有るので、天文臺の昔話が澤山有つた。曾て海王星發見のルヴェリエが、中々横着で、一時に四十人の臺員を免職したとき、其内ちのレプシエと云ふ人が、廻はり廻はつて日本に來り、攻玉舎で數學を教へた。日本婦人を娶り、吾邦で落着いて居たが、コレ病大流行の節、惜しいことには微くなられたそうだ。此話も其の時に聞いたのである。寺尾臺長に隨行せる人には、水原氏の外に、大學生二名（名を逸す）と、松崎（？）助手とが居られたが、皆な快轄な人々で有つた。小樽で此等の觀測者と訣れて後ちは、予はアイマスト隊と青森を経て汽車で東京に向ふた。

（終）

寄贈交換された圖書雜誌

最近本會が寄贈交換した下記の書籍は大部分は更に花山天文臺へ寄贈し保管せられ、他は本會で整理保管して居ります。因みに之等の書籍は本會々員に限り、從來本部を訪ねて下さる方々の閱覽に供して居ります、尙今後も自由に御利用下さい。

Russian Astronomical Journal (露).

Engelhardt Observatory Bulletin (露, Kasan obs.).

Circular of the Astronomical Observation at Warsaw.

日本天文史料綜覽(神田茂氏).

Total Eclipse of the Sun, June 19. 1936, in USSR.

Working Ephemerides for the Determination of Time by the Method of
Corresponding Altitude (I—IV) (露, Moscow)

東京天文臺報・大阪帝大理學部研究報告(和, 歐文)・東北帝大天文學報(和, 歐文)・

水澤緯度觀測所報告(歐文)・新竹、臺中兩州烈震報告(中央氣象臺)・

海洋氣象臺報告・海洋氣象臺彙報・中央氣象臺歐文彙報・

農學研究(大原農業研究所)・

天文月報・科學・理學界・應用物理・京星・ウラニヤ・科學知識・

Milky Way.

氣象集誌・地學雜誌・地質學雜誌・地球・オリム・ラヂオの日本・